

TOTO

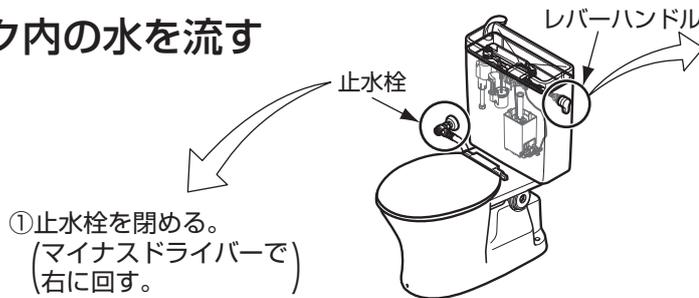
排水弁ユニット・玉鎖ユニット（交換手順）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

交換前作業（共通）

※交換前に下記 ①～③の作業を実施してください。

① タンク内の水を流す

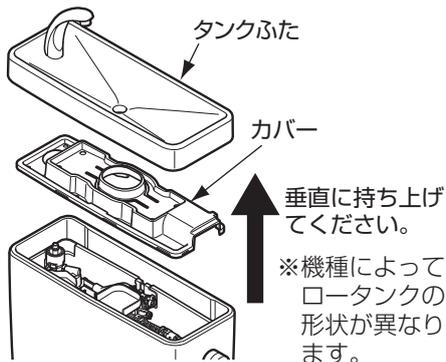
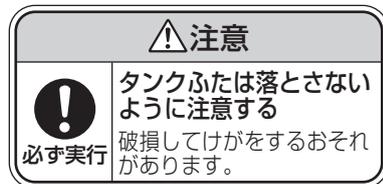


② タンク内の水を流す。
(大の方向)
(手でハンドルを数秒間保持して
完全に水を抜いてください。)

※機種によってロータンクの形状が異なります。

② タンクふたとカバーを外す

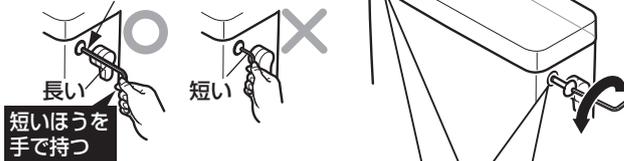
カバーを持ち上げてそのまま外します。



〈タンクふた固定仕様の場合〉

タンクふたを取り外す前に六角穴付きボルトをゆるめ、上ふた固定板のロックを外す必要があります。

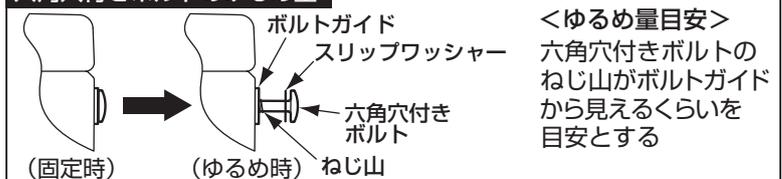
① 六角穴付きボルトを左に 回し、ゆるめる
六角棒スパナ



使用工具



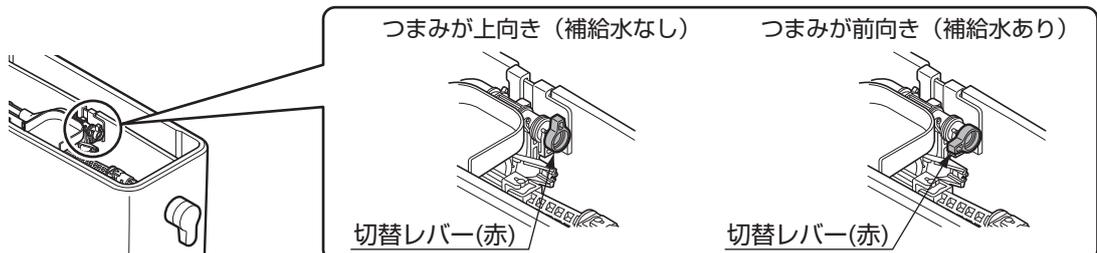
六角穴付きボルトのゆるめ量



② 六角穴付きボルトをボルトガイドに 押し付け、タンクふたを垂直に持ち 上げ、外す



③ 切替レバー（赤）の向きを確認する



※部品の交換後に、切替レバー(赤)の向きを交換前の状態にあわせる必要があります。

交換手順

●排水弁ユニット

④～⑦、⑨、⑪～⑭を参照してください。

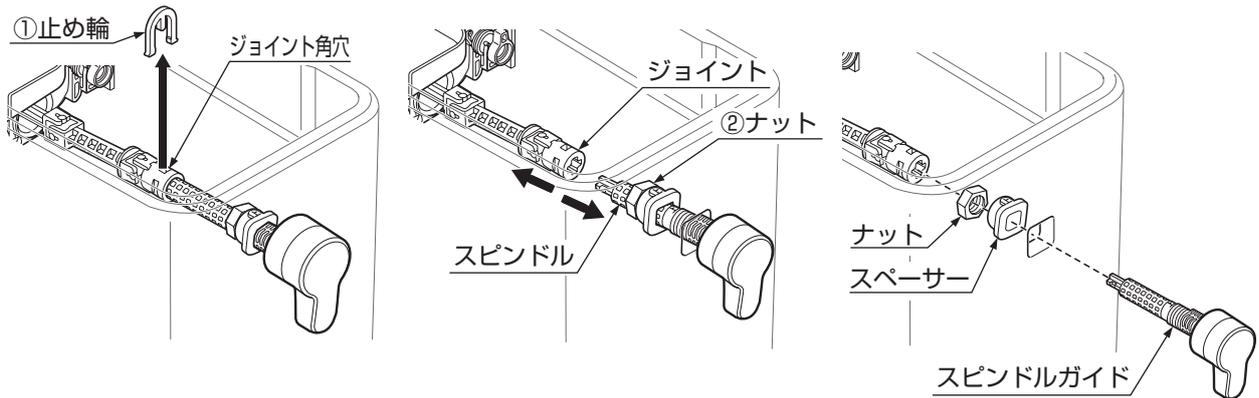
●玉鎖ユニット

④～⑭を参照してください。

④ レバーハンドル部を取り外す

共通

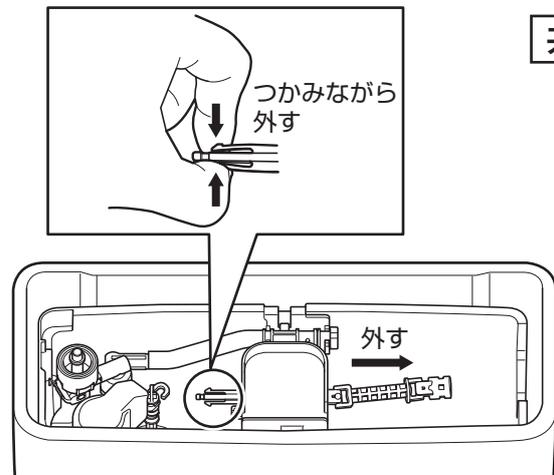
- ①レバーの止め輪を取り外す。
※止め輪を落とさないように注意してください。
- ②ナットをゆるめてレバーハンドル部を取り外す。



⑤ ジョイントユニットを外す

共通

- ・排水レバーユニットからジョイントユニットを外す。

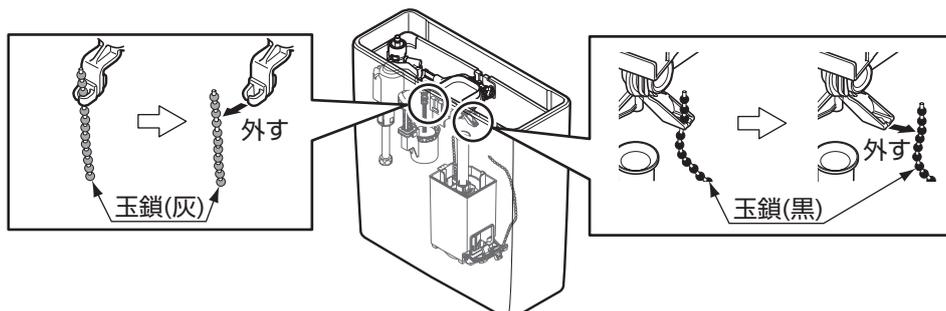


(図は手洗い付きの場合)

⑥ 玉鎖 (黒・灰) を外す

共通

- ・排水レバーユニットから玉鎖 (黒・灰) を外す。



(図は手洗い付きの場合)

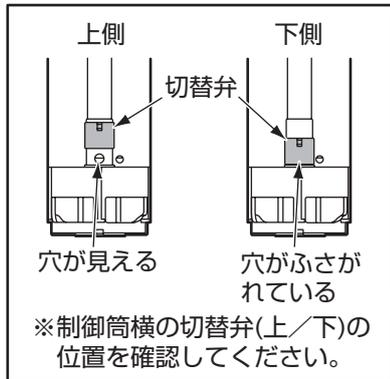
7 制御筒ユニットを取り外す

共通

- ①制御筒のツメを持って回転させる。
- ②右図のように矢印をあわせた後、引き上げて外す。

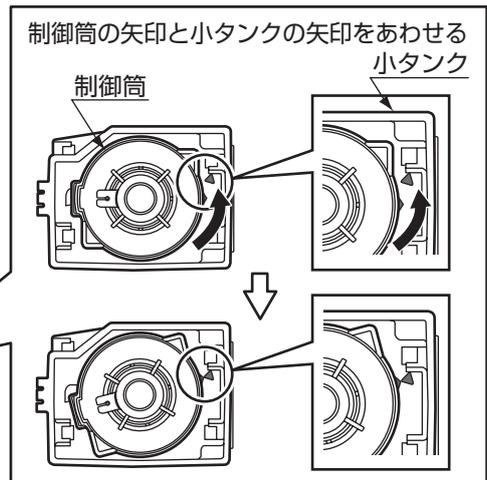
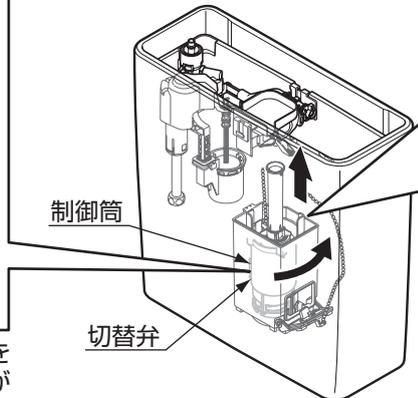
注意

制御筒の取り外し時に樹脂タンクに傷をつけないようにしてください。



※制御筒横の切替弁(上/下)の位置を確認してください。

※部品の交換後に、切替弁の位置を交換前の状態にあわせる必要があります。

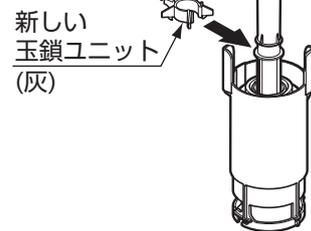
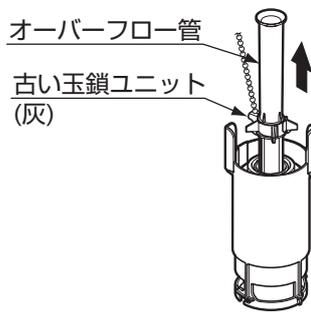


(図は手洗い付きの場合)

8 玉鎖ユニット (灰) を交換する

玉鎖ユニット

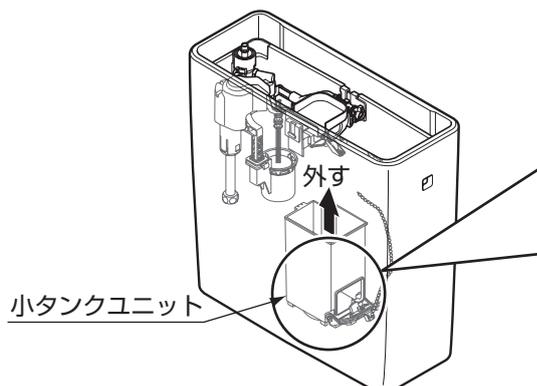
- ①オーバーフロー管から玉鎖ユニット (灰) を取り外す。
 - ②新しい玉鎖ユニット (灰) を取り付ける。
- ※取り付ける際には、向きに注意してください。



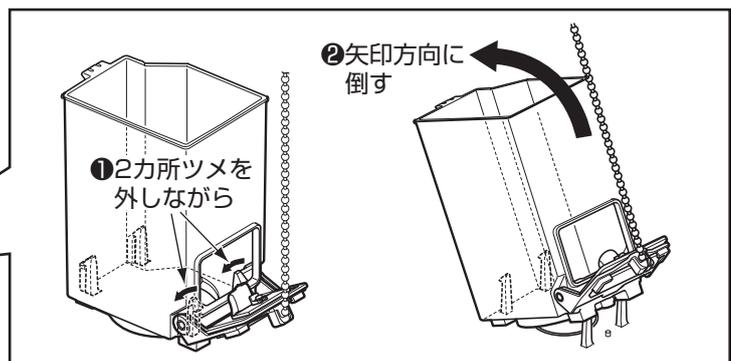
9 小タンクユニットを取り外す

共通

- ・小タンクを取り外す。
- ※ツメ (4カ所) でとまっているので、注意すること。



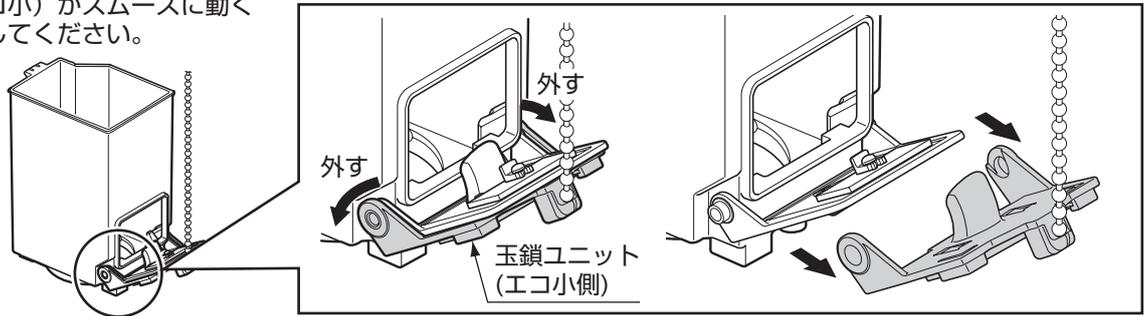
(図は手洗い付きの場合)



10 玉鎖ユニット（エコ小側）を取り外す

玉鎖ユニット

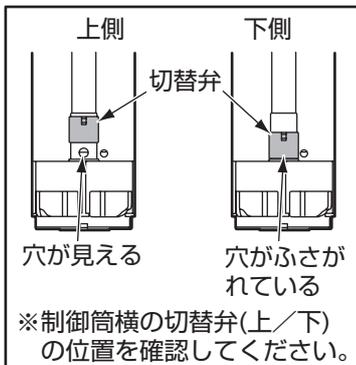
- ①玉鎖ユニット（エコ小側）を取り外す。
 - ②新しい玉鎖ユニット（エコ小側）を取り付ける。
- ※玉鎖ユニット（エコ小側）を取り付けたあとは、玉鎖を持ち上げて切替弁（エコ小）がスムーズに動くことを確認してください。



11 排水弁ユニットを取り付ける

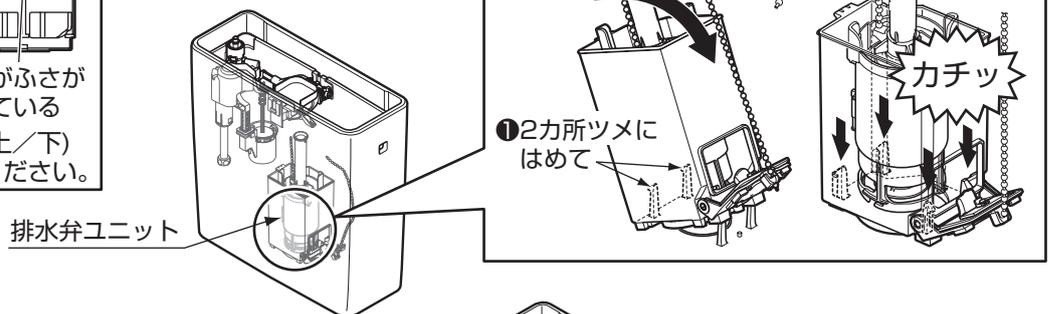
共通

- ・ ⑦ で確認した制御筒横の切替弁（上/下）の位置によって取付方法が異なります。



穴が見える場合

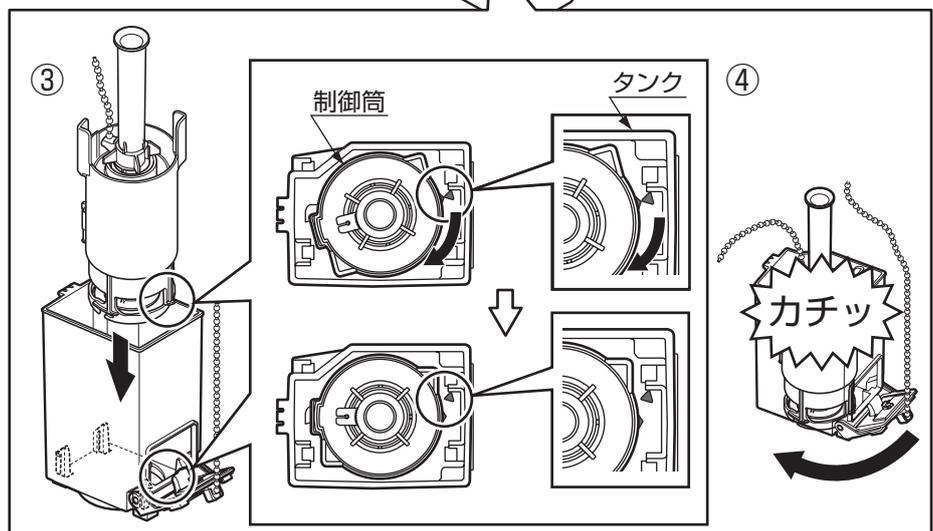
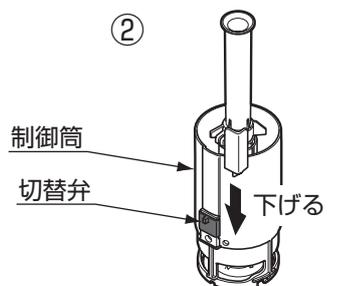
- ・排水弁ユニットを取り付ける。
- ※排水弁ユニットを取り付けたあと、きちんとはまっていることを確認してください。



穴がふさがれている場合

- ①制御筒ユニットを ⑦ と同じ手順で取り外す。
- ②制御筒横の切替弁を下げる。
- ③制御筒を取り付ける。
- ④排水弁ユニットを取り付ける。

正しく取り付けないと止水不良になります。



12 玉鎖（黒・灰）を取り付ける

共通

※玉鎖（黒・灰）の取付位置を間違えないように注意してください。

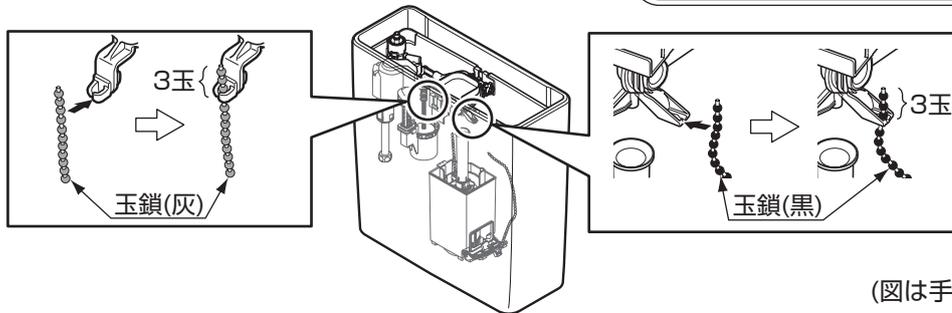
⚠注意

玉鎖は必ず3玉余らせて取り付ける
止水不良や洗浄不良が発生するおそれがあります。



必ず実行

玉鎖は奥の丸いところまで確実に差し込む
差し込みが甘いとお外れるおそれがあります。



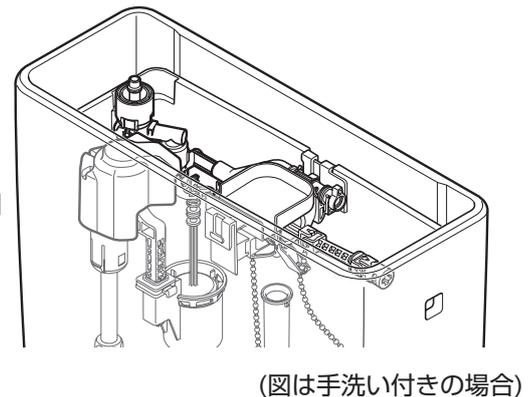
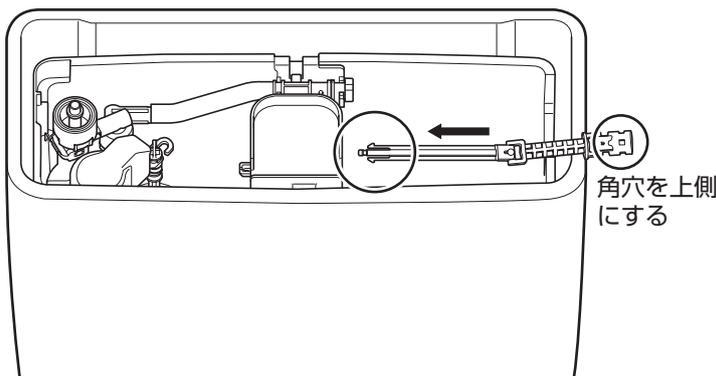
(図は手洗い付きの場合)

13 ジョイントユニットを取り付ける

共通

・ 5 と逆の手順で取り付ける。

※ジョイントの向きに注意して取り付けてください。
ジョイントは角穴部分が上向きになります。



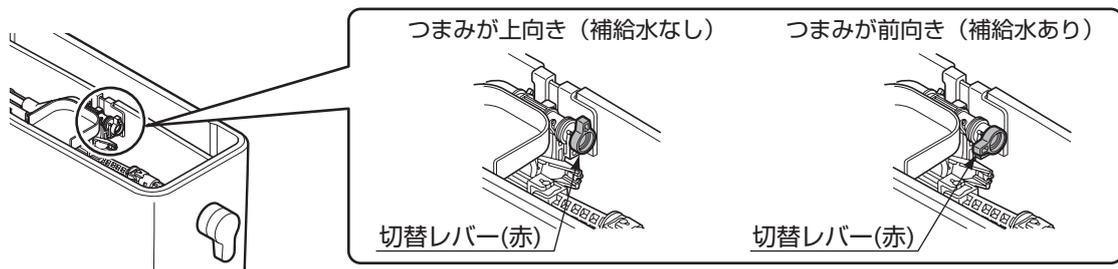
14 レバーハンドル部を取り付ける

・ 4 の①～②と逆の手順で取り付ける。

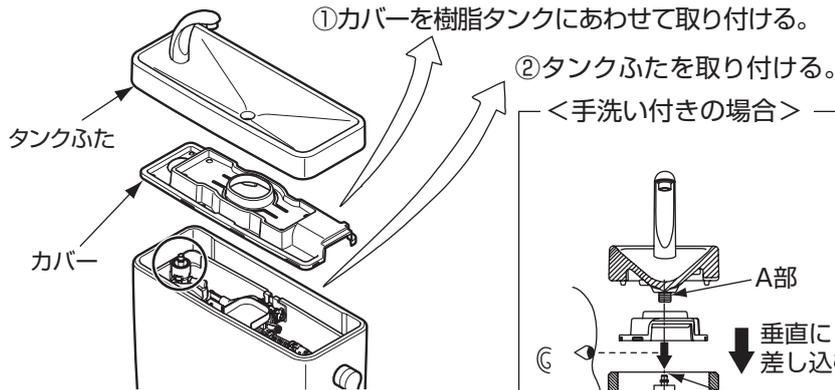
交換後作業

※交換後に下記 15 ～ 17 の作業を実施してください。

15 切替レバー（赤）の向きを確認し、交換前の状態にあわせる

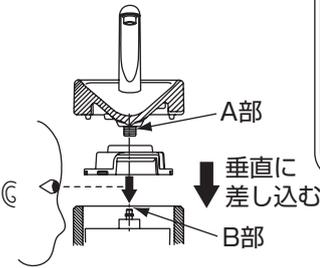


16 カバーとタンクふたを元に戻す



※機種によってロータンクの形状が異なります。

＜手洗い付きの場合＞



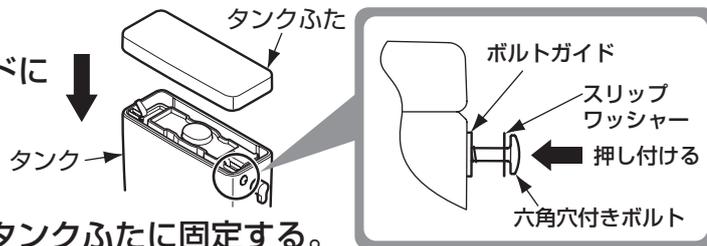
⚠注意

必ず実行 手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む
 確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。

＜タンクふた固定仕様の場合＞

①六角穴付きボルトをボルトガイドに押しつけ、タンクふたを載せる。



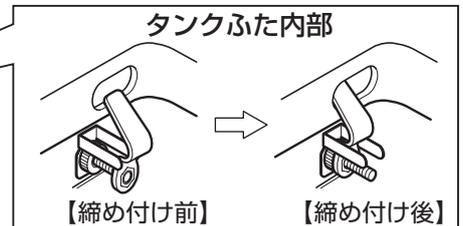
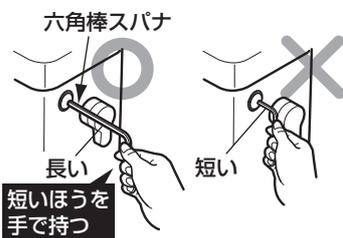
②六角穴付きボルトを締め付け、タンクふたに固定する。

⚠注意

必ず実行 ねじの締め込み過ぎに注意する
 締め込み過ぎると、ロータンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

注意

ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズれるおそれがあります。



17 取り付け完了後の確認をする

- ・大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。
- ・止水栓を開け2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ・水の出方が悪いときは、取扱説明書（お客様保管）“給水フィルターの掃除”を参照して掃除を行う。

正常な状態

正常な水たまり面

設定変更は不要です。
 (設定を行うと、洗浄不良になる場合があります)

この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

水たまり面が低い

設定変更を行ってください。
 (洗浄水量を変えずに水たまり面を正常な状態にすることができます)

設定変更の仕方は取扱説明書（お客様保管）をご参照ください。

この面(斜線部分)まで水がたまっていない

＜水たまり面の判断に迷ったときは…＞

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。